

没後50年

堂本印象、自在なる創造

と き／10月7日(火)～11月24日(月・休) 10：00AM～6：00PM

ところ／京都国立近代美術館（休日以外の月曜と10/14、11/4休館）

京都市左京区岡崎公園内 ☎075-761-4111

《交響》
1961（昭和36）年
第4回新日展
（堂本印象美術館蔵）

堂本印象（1891～1975）は、1918（大正7）年に京都市立絵画専門学校（現京都市立芸術大学）に入学し、1920（大正9）年には西山翠嶂が設立した画塾「青甲社」に入門して日本画家として研鑽を積んだ。1919（大正8）年の第1回帝展に初入選。第3回帝展では《調鞠図》が特選、第6回帝展では《華厳》で帝国美術院賞を受賞するなど官展を中心に活躍し、一躍画壇の花形となった。その後母校の教授として、また私塾東丘社の主宰者として多くの更新を育てた。細密な具象画を持ち味としていた印象は、60歳を過ぎて渡欧した後は抽象的な作風へと移行し、躍動感のある筆のストロークで表現した抽象画を完成させた。1950（昭和25）年に日本芸術院会員、さらに1961（昭和36）年には文化勲章を受章。1966（昭和41）年には自らデザインした堂本美術館を衣笠の地に開館、1975（昭和50）年に83歳で没した。

堂本印象の没後50年を記念して開催される本展は、官展出品作などの代表作を中心に画業を振り返る大回顧展であり、京都画壇のみならず全国的に名を馳せた印象の全貌に迫る。

《風神》
1961（昭和36）年（堂本印象美術館蔵）

《木華開耶媛》
1929（昭和4）年
第10回帝展
（堂本印象美術館蔵）

《詞梨帝母》
1922（大正11）年
第4回帝展
（京都国立公園近代美術館蔵）

旧上田恒次家住宅
（撮影：原田祐馬）

特別展・民藝誕生100年 ～京都が紡いだ日常の美～

と き／9月13日(土)～12月7日(日) 10：00AM～6：00PM
ところ／京都市京セラ美術館本館南回廊1階（祝日以外の月曜休館）
京都市左京区岡崎公園内 ☎075-771-8344

思想家の柳宗悦、陶工の河井寛次郎、濱田庄司が京都に集うことで始まった「民藝」運動。木喰仏（もくじきぶつ）の調査旅行をするなかで議論を深め、1925（大正14）年「民衆的な工芸＝民藝」という言葉が生まれた。現在「民藝」という言葉が誕生して100年を迎えるにあたり、特別展「民藝誕生100年—京都が紡いだ日常の美」が開催されている。「民藝」という言葉が誕生するきっかけとなった木喰仏をはじめ、上加茂民藝協会で活動した黒田辰秋、青田五良の作品や、「民藝館」「三國荘」のために制作された河井寛次郎、濱田庄司、バーナード・リーチらの工芸作品、柳宗悦らによる日本全国の蒐集品や、芹沢銈介、棟方志功などの民藝関連作家の優品を展示。また英文学者の寿岳文章、京菓子の鍵善良房、牛肉水炊きの祇園十二段家、民藝の建築を推し進めた上田恒次など京都における民藝運動の推進者や支援者をめぐる作品や資料などとあわせ、京都と民藝との関わりを総合的に紹介。

松乃饅素（旧松乃茶寮）
一階応接室

式場邸 一階応接間
（撮影：川島智生）

会 場		日 曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
			水	木	金	土	④	月	火	水	木	金	土	④	④	火	水	木	金	土	④	月	火	水	木	金	土	④	月	火	水	木	金
京都府 京都文化博物館 中京区高倉通三条上ル 222-0888	2F	未来へのおくりもの 京都府×京都市 新指定文化財																														→11/24	
	3F	特別展 世界遺産 縄文																														→11/30	
	4F																																
	5F	京都写真OB 2025京都展 ふたば普通道会展 京都開催特別展										京の名工展										選抜 京都墨彩 画壇 秋季展 第44回 聚英展 絵更紗展										→11/2	
	6F																															→11/2	
	別館	音楽会	音楽会	音楽会	音楽会					音楽会		京都アート クラフト マーケット		音楽会		京都今昔きもの 大市&京都楽市		音楽会		音楽会		音楽会		音楽会		音楽会		音楽会		華展			
京 都 学 ・ 歴 彩 館 左京区下鴨半木町1-29 723-4831		令和7年度秋季特別展 大阪・関西万博記念 お茶博—TEA from KYOTO— （8日・13日休館）																														→11/9	

- 1 -

会 場		日 曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
京都国立近代美術館 左京区岡崎公園内 761-4111		3F	没後50年 堂本印象 自在なる創造																												→11/24				
		4F	荒木 悠 Reorienting 100年前に海を渡った作家たちと 2025年度 第3回コレクション展																												→12/7				
京 都 国 立 博 物 館 東山区東大路七条西 541-1151		特別展 宋元仏画－蒼海（うみ）を越えたほとけたち																															→11/16		
京都市 京セラ美術館 左京区岡崎公園内 771-4334		本 館	どこ見る？どう見る？西洋絵画！ルネサンスから印象派まで サンディエゴ美術館 feat.国立西洋美術館														コレクションルーム 秋期 特集「こどもへのまなざし」														→12/14				
			民藝誕生100年－京都が紡いだ日常の美																															→12/7	
			第46回 美工作品展								京友禅 きもの芸術展						第75回 京都勤労者 文化祭書道展								敬老ボ スター展						第44回 汎具象展		京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046	→11/2	
											京鹿の子・ 京繻・京組紐																								
											再興第110回 「院展」京都展				Ge展								日本山岳写真協会 関西支部展												
		東 山 キューブ	Hello Kitty展 －わたしが変わるとキティも変わる－																															→12/7	
		別館 1F	令和7年度京都市 幼児・児童・生徒 作品展及び姉妹 都市 交歓作品展								第44回 魁書道展						第52回在日朝鮮 学生美術展京都展								第17回京都 写真倶楽部連盟展								写真がつなぐ仲間展 「フォト連」		→11/2
		別館 2F									第14回 SYOサロン展								第79回 文人展								第27回新陶彫京都展								第39回京都芸術祭美 術部門 国際交流総合展
京都府立 文化芸術会館 河原町府立病院前 222-1046		1F	選抜京都現代水墨展 （墨彩画）				第55回 京都写真家協会展								第47回 日本画光玄展								7人の絵画展 （洋画）								第一美術関西展 （美工総合）		→11/2		
		2F					京都自由写壇展 （写真）								龍堂會展 （書）								第28回 日本画きら展								第一美術関西展 （美工総合）		→11/2		
		3F																																	
京都府立堂本印象美術館 北区平野上柳町26 463-0007		展示替えのため休館				〈没後50年記念〉 企画展「The Great DOMOTO －堂本印象の家族たち－」																										→12/21			
企	何必館・京都現代美術館 東山区祇園町北側 525-1311																																		
企	高 島 屋 下京区河原町四条下ル 221-8811	画 廊	第19回 個の地平								－京都・院展後作家グループ展－ 京 TSUNAGU 未来				Unknown World －見慣れた光景と その向こう側－								角 有伊 うるし展								人間国宝 鈴木 藏 展		→11/3		
							襲名記念 千家十職 土風如・焼物師 十八代 永樂善五郎展												田島周吾 日本画展																
		美術工芸 サロン	いろえ 友田多紀 陶展				水野皓介 陶展 －恩光－								柴田恭久 陶芸の仕事展								Nebula 杉本小百合 漆展								北浦雄大 漆造形展 ～ヨビツギへの語り～		→11/3		
		グランド ホール																																	
企	大 丸 中京区四条高倉 050-1790-3000	画 廊	泉 東臣 日本画展				進化する「京琳派」半導体×花 西嶋豊彦 日本画展				…月と遊ぶ蛙たち… Osana Megumi展								－化身－ 松下雅寿 日本画展								襲名記念 四代 小川長樂 展		→11/4						
		アート サロン	松岡円香展 グリーンシュプレヒコール				吉田 緑 油絵展 MY FLOWER GARDEN ～花々と動物たち～				堤 春生展 ～箔に魅せられて～								松尾彩加 絵画展 －雨垂れの花－								ミチヨスク ラッチ絵画展 ～遊覧探訪～		→11/4						
		6 F イベン トホー ル																																	
企	中 信 美 術 館 上京区下立売油小路東入 417-2323																西野陽一展 （月曜休館）																	→12/5	
企	並河靖之七宝記念館 三条通北裏白川筋東 752-3277		秋季特別展「並河七宝 －永遠なる黒の輝き－」（月・木休館）														10/11(土)と10/25(土) 主屋二階特別公開																		
企	泉 屋 博 古 館 左京区鹿ヶ谷宮ノ前町24 771-6411		「不倒の油画道」生誕151年からの鹿子木孟郎 （祝日以外の月曜と10/14、11/4、11/25休館）																															→12/14	
企	美術館「えき」KYOTO 京都駅ビル京都伊勢丹7F隣接 352-1111		円空展 330年の祈り 彫り宿る、円空の魂！										生誕100年 昭和を生きた画家 牧野邦夫 －その魂の召喚－ MAKINO Kunio: 100th Anniversary Retrospective - The Revival of the Artist's Spirit -																					→11/16	
会 場		日 曜	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
資	アートギャラリー博宝堂 左京区岡崎神宮道東側 771-9401		常設展（月曜休館）										高木唯可水彩画展 －秋思－ （月曜休館）																						
資	イラストギャラリー・トララ 東山区東山五条上ル西入ル 541-3805		常設展（月曜休館）																																
資	アーツスペース柚（ゆう） 東山区二条通東山西入 090-6916-5353												上仲竜太個展「紙遊び」展 （月曜休館）										絵本潜入！天才科学者の実験室 原画展 実験道具がいっぱい！ たなべたい個展										→11/2		
資	アーツポット櫻奏 東山区八坂通大和大路東入南入 090-3945-7492		常設展（見学にお越しの方は立松まで（090-3945-7492）ご予約お願いします。）																																
企	Art Space 癒 心 庵 長岡京市今里畔町24-8 951-2788		小原古都展 毎週火・金曜日（祝日は休館・完全予約制） 時間 【10：00～16：00】 午前・午後 各一組4名まで 予約の受付時間 【9：00～15：30】																															→11/18	
企	ARTES ERYSION 中京区姉小路通寺町西入 600-0469						坪田純哉 日本画 個展「交響詩」 （水曜休館）								押元一敏 日本画 個展「水声山色」 （水曜休館）																				
資	綾小路ギャラリー武 下京区綾小路高倉東入ル 351-4787		Sieva 西陣織・丹後織物				Room Ycina POPUP SHOP								チョークアート展								ジョイ展								まさこの漆 作品展		→11/2		

黒崎彰七回忌展

と き／9月19日(金)～10月19日(日) 1:00PM～6:00PM

ところ／ギャラリー宮脇(水曜休廊)

京都市中京区寺町二条上ル ☎075-231-2321

黒崎彰(1937～2019)七回忌の個展。作者の業績は1970～80年代の作品において浮世絵木版画の技術を現代版画に蘇生した革新性がとくに評価されている。しかし80年代の終わりに先駆的なペーパーワークの仕事を手掛けると、木版画にも自由で新しい技法・材料を求め、極めて独創的な表現世界を展開した。その50年に及ぶ全仕事を見わたすと、作風は大きく変化して多様だが、その創造思考は最初期から生涯一貫している。

作者のつくるイメージは常に多義的で、全体から醸し出される暗示と気配こそが作品の本質となっている。イメージはむしろ不可解で曖昧な情報を提示し、見るものはその気配を各々に感得するというのが、黒崎の開かれた美術観だったのではないだろうか。

没後も町田市立国際版画美術館、徳島県立近代美術館、福島県立美術館など全国各地の美術館で、収蔵品や寄託品による作品の展示が行われ、また海外美術館ではポーランド、クラクフの日本美術技術博物館での個展ほか、香港やアメリカの美術館でも展示や新規収蔵が行われている。

★10/13(月・祝)午後3時～メモリアル・レセプション開催。
創造の円環を築き上げた作者に思いを馳せませう。
特集パンフレット『螺旋階段』第120号刊行 会場で配布します。



「偽りのシグナル」76.5×105cm
1987年



「万葉(近江) 伊香の萩原」40×55cm
2014年



「禁じられたゾーン5」
58×38.5cm 2009年



「乾いた夢A」
55×39cm 1976年

上仲竜太個展「紙遊び」展

と き／10月4日(土)～10月12日(日) 12:00～6:00PM

ところ／アーツスペース柚(YOU)

京都市左京区二条通り東大路西入ル ☎075-605-8352

2007年より、ハトメ抜きと金づちを使い、紙に穴を開けて絵を制作する「孔画」という独自の技法を続けています。この手法によって生まれる、波打つ輪郭線と、紙が持つ豊かな表情。それらを活かし、長年描き続けてきた世界中の動物たちをモチーフに制作しました。

展覧会名を「紙遊び」と名付けたのは、私の創作の原点が、子どもの頃の工作や創作にあると改めて気づいたからです。作品と向き合うたび、「あの頃も、こんな風に夢中で作っていたな」と、子どもの頃の感覚が蘇ります。子どもの頃の感覚で描ける事が、今の私にとって一番の喜びです。そんな、楽しんで、そして、心を込めて作った作品たちです。

どうぞお気軽にご覧いただければ幸いです。

上仲竜太略歴

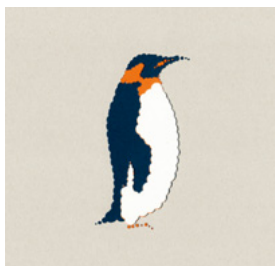
1988 千葉に生まれる
1989 京都府に転居
2026-2008 ジャルダン美術研究所
2008 京都嵯峨芸術大学造形学科油画分野入学
2012 京都嵯峨芸術大学造形学科油画分野卒業
2013 イラストレーターとして活動開始



「カラス」
2025



「パンサーカメレオン」
2020



「コウテイペンギン」
2019



「オオサンショウウオ」
2019

<http://artspace-u.com/>

〔今月の展覧会より〕

ケージから池田亮司まで —現代アートの軌跡

と き／10月10日(金)～11月9日(日) 12:00～6:00PM

ところ／ギャラリー白川 (月・火休廊)

京都市東山区祇園下河原上弁天町430-1 ☎075-532-2616

1952年、ジョン・ケージの「4'33"」が発表された。このことにより芸術は新たな領域へと広がりを見せることになる。今展では、画廊コレクションを中心に、デュシャン、ケージからアメリカのミニマル・アート、ポップアート、日本の具体、メディア・アートの池田亮司までの作品を展示し、ケージ以降の領域を拡げて拡大し続ける現代アートの軌跡を辿る。どうぞご高覧くださいませ。

出品作家

ジョン・ケージ

デュシャン

マン・レイ

リキテン・シュタイン

ソル・ルウィット

R・マンゴールド

クリスト

ラ・モンテ・ヤング

リー・ライリー

白髪一雄

松谷武判

池田亮司 他



John Cage GlobalVILLAGE37-48

1989

銅版画によるモノタイプ

サイズ：H90×W66.6cm



池田 亮司 4'33" 2010

素材：framed 16mm film

(blank with AATON timecode)

サイズ：W92.5×H88.0×D2.7cm

ナイーブな感性・藤田龍児の世界

と き／10月11日(土)～11月1日(土) 10:30AM～6:00PM

ところ／星野画廊 (毎月曜と10/19(日)休廊)

京都市東山区神宮道三条上ル ☎075-771-3670

美術文化協会展で日本の山河を題材にした独自の画境を発表していた藤田龍児は、1976(昭和51)年48歳で脳血栓に倒れ、翌年再発して右半身不随となった。一時は諦めた画家の道だが、絵筆を左手に持ち替えて懸命のリハビリ5年。見事に復活を果たした。

綿密なマチエールに繊細なスクラッチ技法を取り混ぜ、誰も真似することできない世界を描き、人々を魅了し続け、2002年74歳で病没した。

星野画廊では、生前の1989年に「右手から左手へ、心の旅路を絵筆に託して・藤田龍児個展」を開催。没後17年の2004年には、「エノコログサに託した自然讃歌・藤田龍児遺作展」を開催しており、今回が3度目の展覧となる。また2024年には、東京ステーションギャラリーに於いて「牧歌礼讃／楽園憧憬・アンドレ・ボーシャン＋藤田龍児」展が開催された。折からの新型コロナウイルス騒動にも拘らず、大勢の美術愛好家の心にその名が深く刻み込まれたという。

本展では、2度にわたる脳血栓発作後、絵筆を右手から左手に持ち替えてリハビリ5年、復活最初期の作品を含め、初期から晩年までの作品を網羅した展覧となる。なお《押し寄せる山脈》は病気発作直前の作品で、最後の出品作となった《山なみ》と比較してご覧いただきたいものだ。

※滋賀県立美術館で開催中の「お散歩」展には、藤田の代表作《啓蟄》を含め、7点の作品を協力出品している。こちらにも足を運んで頂ければ幸いである。



《憩の場》1981年 SM



《押し寄せる山脈》1976年 15号
—脳血栓発作直前の出品作品—



《山なみ》2001年 15号
—美術文化最後の出品作品—



《遊び場》1981年 SM
—左手で描きだした最初の作品—

一響の美—(きょうのび) 武田修二郎 個展

と き／10月11日(土)～25日(土) 10:30AM～6:00PM (最終日は5:00PM閉場)
ところ／梅軒画廊(水曜休廊)
京都市下京区烏丸通四条上ル ☎075-221-3510

【作家コメント】

今回の個展では、京都における12ヶ月の動植物を名栗加工された板へ描いた作品をメインに展開いたします。

月毎に移り行く日本ならではの緩やかな四季の移り変わりを、自然な板絵を通して感じていただきたいと思います。

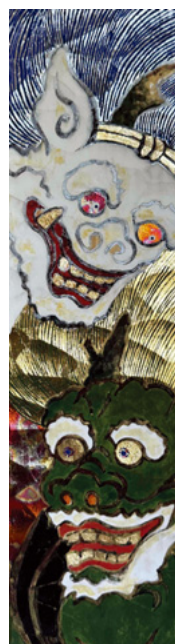
また、京都に生きた先人達から学ぶ作品を現代の住宅環境に合わせて表現してみました。新作を約15点、旧作を約10点ほど展示予定です。皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

【武田修二郎略歴】

1976年 兵庫県生まれ
2002年 京都精華大学大学院芸術研究科日本画分野 修了
2004年 第39回日春展入選(‘10日春展賞 ‘11奨励賞 以降数回入選)
第36回日展入選(‘10特選 以降数回入選)
2014年 伊勢神宮 式年遷宮記念 神宮美術館 特別展
現在 日展会友 日春展 準会員 京都日本画家協会会員



「雲錦」 55cm×14cm
名栗板・金箔・銀箔・アルミ箔・和紙・岩絵具(桜・紅葉図)



「邪鬼祓い」 55cm×14cm
名栗板・金箔・銀箔・アルミ箔・銅箔・岩絵具(風神雷神図)

丸木位里没後30年・丸木俊没後25年展

と き／10月14日(火)～10月19日(日) 12:00～7:00PM
ところ／ギャラリーヒルゲート
京都市中京区寺町三条上ル ☎075-231-3702

戦後80年の今年、生涯をかけて反戦・反核を訴えてこられた丸木夫妻の存在は益々貴重なものに思えます。1989年の第1回展以来、お二人を中心とした展覧会は20回を越えますが、その作品は今も強い光を放ち、同時にお二人の激しくも温かい生涯とお人柄を偲ばせてくれます。

当画廊では、お二人の日本画家、洋画家としての中・小品を主に展示してきましたが、今回は、「原爆の図」のスケッチも特別に出品いただくことになりました。貴重な作品の数々をどうぞ御覧下さいませ。 ギャラリーヒルゲート

丸木 位里 (まるきいり)

1901年 広島県の船宿兼農家に生まれる。
1936年 川端龍子主宰の青龍社展に出品。
1938年 青龍社をはなれ、岩橋英遠、船田玉樹らと歴程美術協会の創立展に参加
1939年 福沢一郎、麻生三郎、巖光らと美術文化協会を創立。
1941年 松俊子(丸木俊)と結婚。アトリエ村池袋モンパルナスに住む。
1945年 広島に原爆が投下された数日後に家族の住む広島に入り、約1ヶ月間救援に当たる。
1950年 日本美術会主催のアンデパンダン展に俊とともに「原爆の図」第1部を発表。
1994年 俊とともにノーベル平和賞の候補に。
1995年 死去。享年94。俊とともに朝日賞受賞。

丸木 俊 (まるきとし)

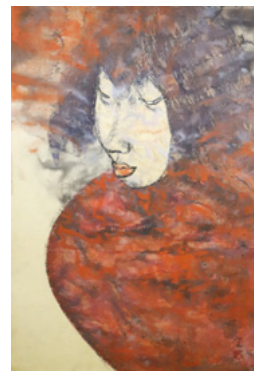
1912年 北海道の寺に生まれる。
1929年 上京し女子美術専門学校(現女子美大)に入学。洋画を学ぶ。小学校教員をへて37年外交官の子供の家庭教師となりモスクワに滞在。
1938年 帰国後二科展に出品。
1941年 再びモスクワに滞在。帰国後位里と結婚。
1942年 美術文化協会会員。
1945年 被爆数日後の広島に行き、位里とともに約1ヶ月救援に当たる。
1950年 位里との共同制作「原爆の図」第1部～第3部を完成。
1995年 位里とともにノーベル平和賞候補に。
1995年 朝日賞を没後の位里とともに受賞。
2000年 死去。享年87。



位里・俊 ポートレート(縁側)



丸木位里「作品40」 制作年不詳
51×61cm 水墨



丸木俊「赤い服を着た女」
1970年代 44×30cm
コンテ、水彩

竹下佳江個展

と き／10月15日(水)～10月26日(日) 11:30AM～6:30PM
ところ／ギャラリー Create洛 (月曜休廊) 最終日は5:00PM
京都市中京区丸太町通堺町通鍵屋町69 ☎075-708-7898

竹下佳江氏の作品は大胆で大らかで自由である。デフォルメされた人物や意味不明な記号や数字が画面に遊び、鑑賞者をくぎ付けにする。しかし、自由に見える奥には画家竹下佳江の計算された画面構成と色彩構成があり、そのテーマは竹下氏が抱える日常生活の貴重な一コマが表現されている。不自由なお身体で自由な作品を創る竹下佳江の世界に触れていただき、東京から京都に宿泊されて在廊されるご本人と語らっていただけたら幸いです。 ギャラリー Create洛

竹下佳江 プロフィール

1981 武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒
1981 国画会出品 (’88国画賞、’91、’93新人賞)
1981～個展
2001 新会員／安田火災美術財団奨励賞 (現損保ジャパン)
文化庁現代美術選抜展

於 ギャラリー惣、みゆき画廊、
アートスペース、Gallery Togeisha
ギャラリー・ラ・リュージュ、
ギャラリー Create洛 など

現在 国画会会員



〔人の人 28-08-54-19〕

不倒の油画道

没後150年からの鹿子木孟郎

と き／9月27日(土)～12月14日(日) 10:00AM～5:00PM
ところ／泉屋博古館 (祝日以外の月曜休館)
京都市左京区鹿ヶ谷下宮ノ前町24 ☎075-771-6411

近代の日本洋画に本格的な「写実」表現をもたらした鹿子木孟郎^{かのこぎたけしろう} (1874～1941) の生誕151年を契機として、その足跡を辿る特別展である。

鹿子木は現在の岡山市に生まれ、はじめ天彩学舎や不同舎で洋画の基礎を学び、1900年に米国経由でフランスへ留学した。1918年まで都合3度にわたって留学したパリではフランス・アカデミスムの巨匠ジャン＝ポール・ローランスの薫陶を受け、フランス古典派絵画の写実を追究した。帰国後は、関西美術院や太平洋画会、文部省美術展覧会 (文展や帝展) の中心的な画家として活躍し、日本洋画の発展に確かな足跡を残した。

印象派以前のリアリズムを根幹とする鹿子木の絵画表現は、日本近代洋画の主流となった黒田清輝たちの外光派の表現とは一線を画している。写実表現が見直される昨今の美術界において、鹿子木の作品は一周回って新鮮な驚きと絵画の豊かさに気付かざるを得ない。

こうした鹿子木の画業を陰で支えた住友家の存在は絶大なものであった。1900 (明治33) 年に、父を亡くした鹿子木は、不同舎の学友とともに欧米遊学へ出発した。パリで出会った浅井忠から長期滞在を勧められた鹿子木は、住友家に支援を願い出て、2年間留学延長できる奨学金を受け、その代わりに鹿子木は、師のジャン＝ポール・ローランスを含む西洋絵画の実作を住友家にもたらし、さらにはアングルやコロドーといった名画の模写も収めている。その後も住友家の後援により、1906 (明治39) 年と1915 (大正5) 年の2回にわたり渡仏し、当地で本格的な絵画学習を果たした。本展では、近代における洋画家支援の様相、また画家とパトロン^{パトロン}の親しい交流をも紹介している。



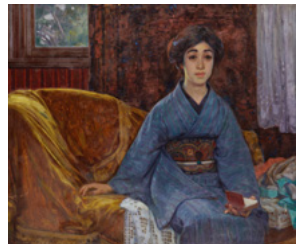
ジャン＝ポール・ローランス
《マルソー將軍の遺体の前のオーストリアの参謀たち》
1877年 泉屋博古館東京 一前期展示一



鹿子木孟郎《ノルマンディーの浜》
1907年 (泉屋博古館東京寄託)



鹿子木孟郎《加茂の競馬》1913年



鹿子木孟郎《婦人像》個人蔵

会 場		日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金						
貸	芸 艸 堂 画 廊														雅堂会 作品展																								
	中京区寺町二条下ル 231-3613																																						
企	絵 草 子		浮世絵・木版画・新版画常設																																				
	東山区新門前通東山西 551-9137																																						
企	延寿堂ギャラリーソフォア		丹下郁 展 (陶芸)												(木曜休廊・水曜不定休廊)			水野幸一×みずのみさ 展 (陶磁×硝子)						(木曜休廊・水曜不定休廊)									→11/11						
	中京区二条寺町東入ル 211-5552																																						
企	御 池 画 廊		休廊																																				
	北区小山上総町20-2 492-3083																																						
企	画 廊 た づ		日本画常設展 (土日祝休廊)																																				
	東山区神宮道三条西入ル 771-8225																																						
貸	ざおんギャラリーハ坂		蒼遊会 代表 国友哲之輔						手づくり工房・ クラフト作品展 浪漫堂 谷内恵美						墨彩画展 お地蔵様の優しい野仏 黒岩豊隆						手づくり工房・ クラフト作品展 浪漫堂 谷内恵美			陶・イラスト：浦本紀子 イラスト・フラワー アレンジ・布小物・ ふじわらえつこ 銅版画・イラスト： キムラトモミ									→11/2						
	東山区祇園町南側 525-1717																																						
企	喜聞堂アートスペース余花庵		糸鱈林 糸展「そら」						初田幸隆 陶展 -焼き締め陶における 多様な表現とその可能性-						よきもの。 -着物・帯・江戸切子-						第30回早蕨会書展			喜聞堂 屏風絵・古美術 常設展									→11/2						
	中京区寺町通御池上ル 212-9793																																						
貸	ギャラリー M		万博と時代祭を描く展 (松本祐佳)																																				
	中京区錦雲師高倉西 221-0979																																						
企	ギャラリー花友じゅらくだい		ロシア・ウクライナ出身画家作品展 (貸画廊受付中)																																				
	上京区智恵光院中立売上ル 451-6005																																						
貸	ギャラリー祇園小舎		第20回京陸展						第38回 染めと織 in 祇園						手作り市 展						陸紀の会展						前田 はるな 作品展						→11/2						
	東山区四条通繩手東入 551-3828																																						
貸	ギャラリー吉象堂		第43回街道展												第15回RUAえんじ展 (立命館OBOG)						第24回同志社大学 スケッチクラブOB展						平岡康次 写真展						→11/2						
	中京区三条柳馬場東 221-3955																																						
貸	ギャラリー Create洛		宮本英雄展 (洋画)						岩本敬子 個展 ～遊びせんとや～ (洋画)						竹下佳江 個展 (月曜休廊) (洋画)						柏 貴夫 展 (洋画)												→11/2						
	中京区丸太町通堺町角 708-7898																																						
貸	ギャラリー恵風	1F	川上力三展 (陶芸)						休廊						大矢一成展 (木彫) 月曜休廊						矢日本画 小品展						川端子絵展 (木版)												→11/2
	左京区丸太町東大路東入 771-1011	2F													猪俣碧・堂本寛恵二人展 (木彫) 月曜休廊												杉本奈奈重展 (木版)												→11/2
貸	ギャラリー胡々湾		日本画グループ展 第4回「喜楽会」												油画 三井聖子展						百乃花						リアル色鉛筆画 宝珍幸子個展						ワイヤーアート テソロロ展						
	東山区神宮道三条上ル 090-8367-1460																																						
会 場		日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金						
貸	ギャラリー 佐 野		貸ギャラリー受付中																																				
	中京区寺町錦雲師西北角 221-2767																																						
企	ギャラリー三条祇園																																						
	中京区寺町通御池上ル 221-6401																																						
企	ギャラリー 白 川														ケージから池田亮司までー現代アートの軌跡 (月・火休廊)																		→11/9						
	東山安井東一筋目南 532-2616																																						
貸	ギャラリー 16		福西数身展 (平面)						- 空間と時間 - (月曜休廊)						森本加弥乃展「Timeless time」 (インスタレーション) (月曜休廊)						汲田裕子展 「立涌」(平面)												→11/8						
	東山区三条通白川橋西入上ル 751-9238																																						
貸	ギャラリー Space 妙		貸しギャラリー受付中												大岩万里子展												久田多恵 展						→11/5						
	左京区松ヶ崎町1-1 090-6605-0656																																						
企	ギャラリー 創		日本画・洋画・古書画常設展																																				
	中京区河原町御池上ル 251-0522																																						
企	ギャラリー鉄齋堂		常設展																																				
	東山区新門前東山西 531-6164																																						
貸	ギャラリー富小路		貸ギャラリー受付中																																				
	下京区富小路綾小路下ル 090-7095-0576																																						
企	ギャラリーなかむら														中原史雄展 (洋画) (月曜休廊)												volga volga @京都秋展						→11/8						
	中京区姉小路河原町東 231-6632																																						
企	ギャラリー白梅園		白崎信子ガラス作品常設展																																				
	北区北野上白梅町63 461-0427																																						

会 場		日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金		
貸	企	ギャラリー・ヒルゲート 中京区寺町三条上ル 231-3702	1F	橋本哲史 (平面・立体)				ウォルター・バジエツ 展 北斎にインスパイアされた (木版画)						丸木位里没後30年 ・丸木俊没後25年展 賛助出品：丸木スマ・ 丸木ひさ子						「想・現・画」展 ～NYからKYOTOへ～ 上杉 尚 展 ～〕 井・～						日下部直起 展 ～静かな 刻の中で～						→11/2			
			2F	ENNEN FACTORY 版画展																															
		奥庭 空間	鐵羅 佑 個展 五千度の庭 (鉄造形) (月曜休廊)																															→12/21	
企		ギャラリー美楽堂 東山区神宮道三条上ル 761-9710	日本画常設展 (月曜定休)																																
貸	企	ギャラリーマロニエ 河原町四条上ル東側 221-0117	3F					大島春紫 (版画)														イ・アギオン (平面)												→11/2	
			4F					楊 嘉懿 (平面)				作家のコレクションⅢ				作家のコレクションⅢ								岡田友梨・中上七海 (平面・立体)											
			5F	金藤弘樹・坂本大地二人展 「dialogue」(染織)				シマヅヨウ (木彫)																											
貸	企	ギャラリー八坂茶閑 東山区八坂通り小松町565 080-1155-0710															備前焼 松井宏之展																		
企	貸	ギャラリー唯 左京区岡崎神宮道東側 752-0348	吉田はつみ ウェアラブル アート				休廊																								装展 (月曜休廊) 風間紀子 (オリジナルウェア)／AMRI (オリジナル洋服) サンサール (インドの服)／増田政江 (かばん)		祇園あきしの 青磁・陶器展		→11/2
企	貸	ギャラリー龍馬 河原町三条下ル東入 211-7700	「坂本龍馬と酢屋」常設展																																
企	企	ギャラリー正観堂 東山区切通新門前上ル 533-4110	休廊	藤井蓮作品展				休廊								常設展 (水・日曜休廊)																			
企	企	ギャラリー宮脇 中京区寺町二条上ル 231-2321	黒崎彰七回忌展 (水曜休廊) 10/13(月・祝)15:00～メモリアルレセプション開催																																
企	貸	ギャラリー百音 (もね) 左京区岡崎神宮道東側 708-2138	「秋を楽しむ器 アラカルト」 (月曜休廊・祝日営業)														〈クリスマスの準備展〉 クリスマスに最適な器やオーナメントを順次 併催：伊達早苗 popup「クリスマスの訪れ」独自の世界観 で紡ぎだす、器やオーナメント、アクセサリを展示販売																	→12/25	
貸	企	京都ギャラリー 中京区烏丸通錦上ル東側9F 257-5435	貸画廊受付中																																
企	企	京都芸大ギャラリー・アークア 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010															SPECIAL EXHIBITIONS KYOTO EXPERIMENT 2025 展示 ターニヤ・アル＝フーリー & ズィヤード・アブー・リーシュ「電力と権力を探して」 (10月27日休館)																	→11/16	
企	企	京都市立芸術大学資料館 下京区下之町57-1 市立芸術大学C棟1階 585-2010	京都銀行 京都市立芸術大学コレクション －美術研究支援制度25周年記念展																															→11/24	
企	企	京都芸術センター 中京区室町蛸薬師下ル 213-1000	KYOTO EXPERIMENT 2025 Kansai Studies																																
企	企	京都市学校歴史博物館 下京区御幸町通仏光寺下ル 344-1305	墨が彩る書と画 - 京の学校文化財 - (水曜休館) 特別展示：国宝如拙 (瓢鮎図) (妙心寺退蔵院)・江戸時代模本高精細複製品																															→12/21	
会 場		日曜	1水	2木	3金	4土	5日	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	13月	14火	15水	16木	17金	18土	19日	20月	21火	22水	23木	24金	25土	26日	27月	28火	29水	30木	31金		
京都写真美術館	1F 「月」	清永安雄 写真展																										清永安雄 写真展		→11/2					
	2F 「花」	長谷均 写真展 「美に生き、真理に生き、 いのちを生きる」				大道登志子 写真展 「追憶のヨーロッパ(5)」				濱野毅 写真展「水月」																JRP写真展									
京都陶磁器会館	1F	京焼作家による作品常設展																															→11/2		
	2F	上村慶次郎 展 (木曜休館)														京都府陶磁器協同組合 展 (木曜休館)																			
京都万華鏡ミュージアムアートスペース		京都市退職校同長会 北・上京・左京支部 合同作品展																あすなろ会 押し花作品展												すぎやま★ たくみ個展		→11/2			
堀 町 画 廊		最新の情報は、当館HPにてご確認ください。(月曜休館 祝日の場合は開館し翌平日休館)																																	
大 雅 堂		田所尚美 個展														Shannon Kaya 個展						HALLE LUJAH 羊飼いの服				宮崎眞展 -to-				橋本明子 日本画展		→11/2			
玉 山 名 史 刀		常設展														嚆矢祭－其之百三十九－ 村田好謙展 天照の恵 (会期中無休)																			
		常設展／美術刀剣・刀装具・兜・鎧など武具全般																																	
梅 軒 画 廊		日本画・洋画 常設展														「響の美」 武田修二郎 個展 (水曜休廊)														日本画・洋画 常設展					
星 野 画 廊		画廊独自企画展示中																																	
星 野 画 廊		名作発掘品展		休廊																										「ナイーブな視線－藤田龍児の世界」展 毎月曜と10/19(日)休廊		→11/1			

【京都画廊連合会ニュースの購読予約受付中】 1年間¥2,000円です。毎月末にお手紙に届けられます。申込みは星野画廊 (☎771-3670) まで振込用紙をご請求ください。
【短信】 京都画廊連合会ニュースの展覧会紹介記事で掲載している作品の画像は、当連合会のホームページ (<http://www.kyoto-art.net/>) では、
すべてカラー図版として掲載しています。どうぞお楽しみください。

発行：京都画廊連合会 京都市中京区高倉三条上ル 京都府京都文化博物館内 (☎222-0895) <http://www.kyoto-art.net/>